

8人の議員が一般質問を行い、町の施策等について町長に対し論戦を挑んだ。

総務部門

Q 住居表示事業に、地域住民の声を。

A 地域住民の意見や要望を取り入れ、事業を行っていく。(平町総務部長)



福垣内議員

Q 住居表示により区境が大きく変更される地域では、住民の反対が強く、対署名運動も起こるなど、地域住民に不愉快な思いをさせている。住民の意見を取り入れ、選択肢を持つて対応すべきではないか。

A 住居表示審議会からの「道路を基本としつつも、住民の意向を踏まえた上で微調整をし、自治会境界にも配慮した町割案を」という答申にもあるよう、円滑な事業推進のために、可能な限り住民の意見や要望を取り入れた調整案で、事業を進めていく。

Q 開かれた議場への改装を。

A ハード面の改装は困難である。(平本町長)



大瀬戸議員

Q 現在の議場は議員にとっては不便を感じないが、開かれた議会という点では少し疑問も残る。近年では、円卓形式の議場も多く、傍聴席にも工夫がされている所も多い。多額の費用を投じる改装は本末転倒だが、定員削減後のこの際、開かれた形の議場に変更してはどうか。

A 平成11年に、当時の議会庁舎建設特別委員会です分に検討され、仕様を決定した経緯がある。議場の家具は固定式で、円滑な審議のための議会進行システムも備えていることから、円卓形式への改装は困難である。今後は、「開かれた行政」を実現するため、ソフト面での方策を議会と共に調査研究していきたいと考えている。



熊野町議会議場 (役場4階)